

## アジア・ゼロエミッション共同体（AZEC）推進関係省庁会議（第1回） 議事要旨

日時：令和6年6月19日（水）17:10～17:25

場所：官邸4階 大会議室

出席者：岸田内閣総理大臣、村井内閣官房副長官、市川内閣官房副長官補（外政）、藤井内閣官房副長官補（内政）、畠山内閣官房GX実行推進室長、赤堀外務省大臣官房地球規模課題審議官、佐々木内閣官房内閣審議官（内閣官房副長官補付）、泉内閣官房内閣審議官（海外ビジネス投資支援室）、堀本金融庁総合政策局政策立案総括審議官、中村外務省アジア大洋州局南部アジア部長、石月外務省国際協力局長、三村財務省国際局長、水野農林水産省輸出・国際局長、荒井経済産業省大臣官房審議官（通商政策局担当）、村瀬資源エネルギー庁長官、田中国土交通省国際統括官、秦環境省地球環境局長、山田 AZEC 担当大使、四方内閣広報官

- 冒頭、村井内閣官房副長官から以下の発言があった。
  - ・ AZEC は、アジア各国が脱炭素化を進めるとの理念を共有し、エネルギートランジションを進めるために協力すべく、2022 年に、岸田総理が提唱された。昨年 12 月には、初の AZEC 首脳会合が成功裏に開催されたところ。
  - ・ 今後、更なる AZEC の取組の推進に向け、関係国との政策面での連携強化やプロジェクト支援等について、外務省・財務省・金融庁・農水省・経産省・国交省・環境省の7つの関係省庁が緊密に協力して検討を行っていく必要がある。そこで今回、第一回 AZEC 推進関係省庁会議を、岸田総理ご臨席の下、開催する運びとなった。
  - ・ 8 月には AZEC 閣僚会合が開催される予定であり、次回の AZEC 首脳会合開催も念頭に、政府一丸となって取り組む必要がある。このため、今後、関係省庁間の連携の促進やあり得べき成果に関する検討を加速させ、AZEC 推進関係省庁会議を定期的で開催し、フォローアップを実施していきたいと思う。
- 畠山内閣官房GX実行推進室長から以下の発言があった。
  - ・ 昨年 12 月に実施された COP28 では、この 10 年間で決定的に重要であり、世界的な取組をさらに加速させる必要があると決定された。
  - ・ 我が国企業が強みを持つ脱炭素技術は、世界の脱炭素化に大きく貢献できると確信しており、特に製造業の割合が高く、日本と類似の産業構造を持つ ASEAN 諸国に対しては、日本が大きく貢献できるとともに、ASEAN の成長が日本の成長にもつながると考えている。
  - ・ そのため、我が国は、脱炭素に資するプロジェクト単体への支援に止まらず、より持続可能な形で ASEAN 地域における経済社会全体の排出削減を推進していく。そのためにも、電力、運輸、産業部門における協力イニシアティブの策定を通じた関連制度の整備検討を始め、トランジション・ファイナンスの推進や成長志向型カーボンプライシングの知見共有等、資金、人材、技術面での協力といった一体的な支援を行っていく必要がある。
  - ・ この複合的な支援の実現に向けて、新たに始動する ERIA（東アジア・アセアン経済研究センター）の「アジア・ゼロエミッションセンター」ともよく連携し、本日の関係省庁会議の設置を機に、関係省庁間でより一致団結できればと思う。
  - ・ 岸田内閣総理大臣と村井内閣官房副長官のご指導のもと、今後も日本全体として AZEC を強力に推進していきたい。

- 赤堀外務省地球規模課題審議官から以下の発言があった。
  - ・ 気候変動は、気候危機とも呼ぶべき世界共通の待ったなしの課題。我が国としても、国内の取組を加速させていくとともに、各国とも連携してネットゼロに向けた取組を進めていくことが重要。
  - ・ こうした取組は、世界全体の対応を促進する観点から、経済成長を阻害しないよう、各国の事情に応じ、あらゆる技術やエネルギー源を活用する多様な道筋の下で進めていく必要があるが、AZEC の取組は、まさにこのような考え方を具体化させ実行に移していくものである。
  - ・ このような AZEC の取組を発展させることは、経済成長ポテンシャルの高い東南アジア諸国の経済社会全体の排出削減の推進に貢献することができるのみならず、我が国とパートナー国との連携強化にもつながる。
  - ・ 外務省として、本日の AZEC 推進関係省庁会議の発足を待って、パートナー国との連携強化、在外公館を通じた情報収集や対外発信、国際場裡での連携・対外発信、ODA を通じたプロジェクト形成といった取組を更にしっかりと推進していく。
  - ・ 各国との協力の推進に当たっては、協力内容の具体化や各国の担当当局との連携・意思疎通が極めて重要。外務省としても、関係省庁の皆様と一致団結して取り組んでいく。
  
- 次に、山田 AZEC 担当大使から以下の発言があった。
  - ・ 駐ベトナム大使としても AZEC に携わり、その重要性に触れていたため、この職務を拝命したことを大変光栄に感じている。
  - ・ AZEC の取組は、我が国と政治的、経済的にも繋がりが深い東南アジアの国々の脱炭素化を進め、それを通じて世界の脱炭素化にも貢献するもの。同時に日本国内においても、産業構造や経済社会の変革をもたらすもの。東南アジア諸国にとっても、AZEC は、経済社会全体の排出削減の推進を、地域の現実に即しつつ、実効性のある形で後押しするものであり、期待と評価も高まってきていると感じている。
  - ・ 日本、アジア、そして世界にとって意義のある AZEC の取組をより具体的な形で発展させていくため、大使として、積極的にパートナー国と連携をはかり、協力の深化に努めるとともに、対外発信にも努めていく。
  - ・ 官邸のご指導の下に、関係省庁としっかりと連携して取り組んでいきたいと思うので、宜しく願いたい。
  
- 最後に、岸田内閣総理大臣から以下の発言があった。
  - ・ 2022 年に我が国は、AZEC 構想を提唱した。AZEC の取組は、自由で開かれたインド太平洋 (FOIP) の新プランにおける、第二の柱「インド太平洋流の課題対処」にも資する取組。AZEC 構想を推進するため、ネットゼロに向けて ASEAN 各国との間で息の長い取組が必要となる。
  - ・ 昨年末に東京で開催した初の AZEC 首脳会合において、「脱炭素・経済成長・エネルギー安全保障の同時実現」、そして「多様な道筋によるネットゼロの達成」という原則に一致したほか、パートナー国からは、今後の AZEC の活動への高い期待が示された。これを受け、取組をさらに加速させていく。

- ・ 8月には、AZEC 閣僚会合がジャカルタで開催される。また、ジャカルタに「アジア・ゼロエミッションセンター」を始動させ、「プロジェクトの実施」から更に「政策協調」のステージへと取組を強化していく。
- ・ 日本政府の推進体制も抜本的に強化する。本日、政府全体で横断的に進めるため、「AZEC 推進関係省庁会議」を立ち上げた。また、新たに AZEC 担当大使のポストを新設し、山田 滝雄前ベトナム大使を充てることとした。山田 AZEC 担当大使には、今後の首脳会合開催に向け、前面に立ってパートナー国との協力を実現して貰いたいと考えている。
- ・ AZEC 関連プロジェクトは、すでに 350 件以上が進行していると報告を受けた。今後、航空、船舶を含む運輸、農林分野にも協力範囲を拡大し、JBIC・NEXI・JICA を通じた支援を含め、更に強化する。
- ・ アジアの脱炭素化に必要な 4000 兆円と言われる資金を動員するためのトランジション・ファイナンスや、CO<sub>2</sub>削減を評価するためのルール整備などについて、関係省庁が一体となって取り組んでいく。村井官房副長官のもと、関係省庁が連携し、AZEC の取組をしっかりと推進してほしい。

以上